	平成 28 年度 社会福祉法人かみかわ福寿園
	第2回 上川町特別養護老人ホーム 大雪荘 運営推進会議 議事録
日時	平成 28 年 6 月 27 日 (月) 開会 午後 14 時 00 分 閉会 午後 15 時 20 分
場 所	大雪荘会議室
出 席 者	渡辺 多賀志 委員 生駒 尚美 委員 寺阪 育恵 委員 松岡 史枝 委員
欠 席 者	
事 務 局	西木 和義 理事長 谷越 一仁 施設長 三塚 文雄 デイサービス主任相談員 落合 雅俊 生活相談員
第 次 第	開会あいさつ 社会福祉法人 かみかわ福寿園 理事長 西木 和義 1 地域密着型特養の活動状況について 1) 行事等活動状況(報告・予定) 2) 入居者の状況について 3) 各種委員会について 2 地域密着型デイサービスの活動状況について 1) 事業所の概要 2) 利用者の状況について 3) 行事等活動状況(報告) 3 質疑、等 4 平成 27 年事業報告及び決算報告について 5 ご意見、等 6 その他

開会あいさつ

社会福祉法人 かみかわ福寿園 理事長 西木 和義

本日は大変お忙しい中、お集り頂きまして誠にありがとうございます。

本来であれば第 1 回目運営推進会議の場で、皆様方にご挨拶を申し上げる処でしたが、所用に より欠席を致しましたことを申し訳なく思っております。

また、この 2 年間大雪荘の運営推進委員という事でお世話になりますが、よろしくお願い致します。

平素から皆様方には当法人の運営等につきまして、特段のご尽力を頂いていますことに、この場をお借りしまして厚くお礼を申し上げる次第でございます。

ご案内の通り、特養を取り巻く環境が非常に厳しい状況にあり、国の定める介護保険計画第6期という事で、3年毎に見直されているわけですが、その内容として特養の介護報酬の減算や、ご利用者の負担額が増すというような状況があり、消費税が財源となるような事で、状況改善に繋がると思っておりましたが、如何にも考え方が裏腹だなという事もございますし、社会福祉法の改正で、当法人についても制度の改革をしなくてはいけないという事で、今年度中に準備をして、新年度にはスタートしなくてはいけないという状況にあります。

理事者等と協議をしながらこの改革も進めていかなくてはいけないという状況にあります。

しかしながら、当法人としては、ご利用頂いている皆様方が、快適に、安全に暮らせる施設づくりという 事を目標に頑張って行きたいと考えてございますので、皆様のご指導を切にお願い申し上げまして、楚辞で はございますがあいさつに代えさせて頂きます。 それでは次第に沿って進めて参ります。

1 地域密着型特養の活動状況について

別添資料1を読み上げ落合相談員より説明致す。 説明後、質問やご意見をお伺するも、「特になし」との事。

2 地域密着型デイサービスの活動状況について

別添資料 2 を読み上げ三塚主任相談員より説明致す。 説明後、質問やご意見をお伺するも、「特になし」との事。

3 質疑、等

上記内容を再度確認するも、「特になし」との事。

4 平成 27 年事業報告及び決算報告について

別添の資料4,3を読み上げ谷越施設長より説明致す。

渡辺委員

年度当初、かなり大きな赤字予算であったが、当初予算と比較してもかなり頑張られている。

この要因は何でしょう。

谷越施設長

職員の頑張りもさることながら、燃料費の低落が大きかったと思います。

西木理事長

電気代もそうですが、大きい処では重油が主なため、そこが下がったことが大きかったで d.

しかしながら、本年度については厳しい現状にある事は間違いなく、今回の補正を入れて も1千万円くらいの赤字になると。

7千万円の支払資金があるが、それにプラス4千万円位の積立金を持っており、単純に 1億1千万円の為、10年程度しか施設がもたないようでは困るため、町の方にもご支援を

西木理事長

頂ければと考えています。

また、渡辺委員にご尽力頂き、町長とお話させて頂く機会を作って頂き、強く要望をさせ て頂いた。

今後当法人の運営に支障をきたすようなことがあれば、ご利用者へは大変なご迷惑をおかけすることになる為、町長とお話しをさせて頂き、要望をさせて頂いた処です。

町長も、大雪荘は上川になければならない施設であり、何とか支援をしていきたいと力強 く言って頂いています。

5 ご意見、等

委員の皆さまよりご意見を賜る

寺阪委員

いつもわかりやすくご説明頂き、ありがとうございます。

改めてデイサービスの事を教えて頂けたので、大変勉強になりました。

本日の感想としては、ターミナルケアの実施をされていて、実績はあるものの加算を算定されていない状況もあるというお話を伺い、少しもったいないのかなと思った処があります。

大雪荘で最期を迎えるという事よりも、医療機関でご逝去される件の方がやはり多いので しょうか。

落合相談員

はい。

現状で言えば施設で最期を迎える方より医療機関で逝去される割合の方が多い状況です。 その方の要望や、状況によっては最後まで施設を選択して頂くことは可能であるという事 をお伝えさせて頂いていますが、ご入居者の家族は一人ではなく、キーパーソンのご家族からは、施設での看取り希望があったとしても、医療機関でない所でご逝去されたという事実 を他のご親族が耳にした際に「どうして病院に連れて行かなかったんだ」というようなこと もあり、それらを心配され、医療機関に移られるケースもあります。

谷越施設長

また、先ほどお話ししました「準ターミナル」。

内部で検討し、そろそろご家族に看取りのご相談をしてはどうだろうかと準備を進めている時にご逝去されてしまうというようなこともあります。

加算は、準備をしませんとやはり取れませんので、間に合わずに取れなかったというのが 正直なところでしょうか。

点滴とかしはじめてそろそろと準備を始めますが、そこから回復されてターミナルから外れるという事も有りますし、ここはドクターの診断に委ねている処ではあります。

松岡委員

ターミナルケアというのは、最後の看取りの事ですよね。

私自身、父親がお世話になっていますが、まだそのようなお話をする機会はなかったと思うのですが、どのような方々がそういったお話をされるのでしょうか。

落合相談員

大雪荘については、大きなケガ等や、大きな病気が再発した際に、医師ともに「万が一」 を前提に何処で看取るかというお話をさせて頂いているケースが多いと思います。

入所時にあえて確認しないのは、その時に聞いたとしても、大半の方は、最初に確認した 時の答えと、ターミナル期に入った時の回答が違うという事がある為です。

人の心は都度変容していきますし、実感のない中での回答と、いざという時の回答は違って当然ですので、そのような対応をしております。

落合相談員

また、大雪荘での看取りにあたり、制限もございます。

看護職員について、日勤帯は365日勤務しておりますが夜間帯は不在になります。

ただ、夜間についても、3名の看護職員でオンコールの体制を確保しております。

例えば痰絡みなどが頻回多くなってきて、その対応が夜間も必要になってきて、介護職員の口腔内清拭だけでは痰絡みの状態が改善されない場合は、オンコールし、看護職員が駆けつけます。

ただこれが、毎晩必要な状況になると、看護職員3名での対応の為、日中の業務に支障を きたすような状況にもさせられない為、ご家族とご相談させて頂き、医療機関に移ってもら う事も有ります。

松岡委員

今のお話を聞いて、施設を希望される方もいらっしゃるという、新しいお話を聞けました。 ありがとうございます。

生駒委員

デイサービスの利用状況を聞かせて頂いたのですが、地域密着型となる事で、定員 18 名となり、この定員で本当に大丈夫かと心配しております。

最近すごく増えていますよね。

要支援 1、2 は弾かれてしまい、算定の方法が変わり、そういう部分を含め、18 名の定員がギリギリなのではないかと思っています。

また、先ほど理事長のお話で社会福祉法人の制度改革の件に触れておられましたが、

社会福祉法の改正の内容について詳細がまだ発表されていない事も有り、いくつかの懸念 することがあります。

ただ、今後の発表に沿いながら同じ社会福祉法人として協力できるところがあればと思い ます。

渡辺委員

先日、町と包括で行いました研修会に福寿園の職員さんにも多数お越し頂きましてありが とうございました。

皆様のおかげで、盛会に終了することが出来ました。

また、8月の七夕盆踊りについては、今回が私としては最後の参加になるのかなと思いますが、そちらもよろしくお願い致します。

さらに、毎年行っております、健康と長寿を祝う会の日程なのですが、例年9月中旬に行っておりましたが、議会の関係ですとか、かみんぐホールの関係で9月1日に実施することになりましたので、そのつもりで準備を進めて頂ければと思います。

何をするのかは今の処未定ですが、自衛隊の音楽隊に来てもらうような事でお話を進めています。

6 その他

「特になし」との事。

閉会: 15:20

記録: 生活相談員 落合